

原子核工学コース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

原子核工学コースは5つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）を掲載しております。

【機械系】

機械系では、次のような人材を求めます。

- 機械工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- 機械工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- 国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- 機械工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- 高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

【電気電子系】

電気電子系では、次のような人材を求めます。

- 電気電子工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- 電気電子工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- 国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- 電気電子工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- 高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

【材料系】

材料系では、特に次のような学生を求めます。

- 材料科学および材料工学に関連する高度な専門知識と課題解決能力によって、広く社会に貢献する意欲がある人
- 材料科学および材料工学についての学識を深め、未知の領域を開拓するとともにそれらを体系化する強い意志と実行力を有する人

原子核工学コース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

【応用化学系】

応用化学系では、特に次のような学生を求めます。

- 応用化学における科学と工学に関連する高度な専門知識と課題解決能力によって、広く社会に貢献する意欲がある人
- 応用化学における科学と工学についての学識を深め、未知の研究領域を開拓し、それらを体系化することで、新しい潮流を創成する強い意志と実行力を有する人

【融合理工学系】

融合理工学系では、次のような方々を求めます。

- 理工系基礎学力ならびに人文社会科学の知識を有し、それらを活用した実践的な問題解決力を有していること。
- 修得した専門知識に新たな知見を加えて自在に活用できること。
- 国際的なコミュニケーション力、協働力の十分な基礎ができていること。
- 高い志を持ち、知のフロンティアを自ら開拓し、国際的に通用する科学・技術の専門家リーダーとして人類と社会の持続的発展に貢献する強い意志を有していること

原子核工学コース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

原子核工学コースは5つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）を掲載しております。

【機械系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問，機械系の専門に関する学力，英語による語学力などについて，口頭試問などにより，機械系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【電気電子系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問，電気電子系の専門に関する学力，英語による語学力などについて，口頭試問などにより，電気電子系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【材料系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問，材料系の専門に関する学力，英語による語学力などについて，口頭試問などにより，材料系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【応用化学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問，応用化学系の専門に関する学力，英語による語学力などについて，口頭試問などにより，応用化学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【融合理工学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問，融合理工学系の専門に関する学力，英語による語学力などについて，口頭試問などにより，融合理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

原子核工学コース（博士後期課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 原子核工学分野の専門学修

原子核工学分野の高度な専門の学修

B) 原子核工学分野工学の実践的学修

原子核工学の専門的知識を実践的に活用する学修

C) リーダーシップ，高い見識，倫理観，社会的責任感を身につける学修

インターンシップ科目や実践科目を通じてリーダーシップ，高い見識と倫理観，社会的責任感を身につける学修

D) 博士論文研究

博士論文研究により，原子核工学の本質を理解すると共に，課題を発見・探求する力，新たな知見を創造する能力，発信する力，新たな分野を切り拓き，先導する力を修得する。

ディグリー・ポリシー（修得する力）

本コースでは，次のような力を修士課程より高い基準で修得することができる。

- ・原子核工学において国際的に通用するリーダーシップを発揮する力
- ・原子核工学の幅広く深い知識を基に，新たな知見を創造・発信する力
- ・原子核工学の本質を理解し，新たな課題を発見・探求する力
- ・高い見識と倫理観，社会的責任感を持って，新たな分野を切り拓き，先導する力